

## 地域で暮らすことを感情から読み解く

## シビックプライドを中心に

伊藤香織

東京理科大学

イギリスでは、商工業によって多くの都市が勃興し中産階級が台頭してきたヴィクトリア朝（1837～1901）期において、シビックプライドが都市の規範となり、建造物、特に公共建築の文化や審美性がその都市のシビックプライドの表現や証しとして捉えられていた。

20世紀になると、中産階級のアイデンティティが都市から国家へと移行し、他方で、田園趣味や郊外化などの反都市文化が台頭することによって、シビックプライドは急速に放棄されたと言われる。

シビックプライドの精神が再び広く取り上げられるようになったのは、特に1990年代及び2000年代のイギリスの都市再生においてである。

“The West Riding may be called a ‘conurbation’, but the sturdy **civic pride** of its constituent parts, ‘a self-assertive attitude of independence’, dominated its nineteenth-century history.”

Asa Briggs (1963), *Victorian Cities: Manchester, Leeds, Birmingham, Middlesbrough, Melbourne, London*, University of California Press.

“In a superb display not only of mid-Victorian wealth, but intense **civic pride** of the mercantile class, the overall costs of £72,000 were quickly and painlessly raised.”

Tristram Hunt (2004), *Building Jerusalem: The Rise and Fall of the Victorian City*, Weidenfeld & Nicholson.

シビックプライドの源泉  
source of civic pride

## シビックプライド (civic pride)

都市に対する市民の誇り

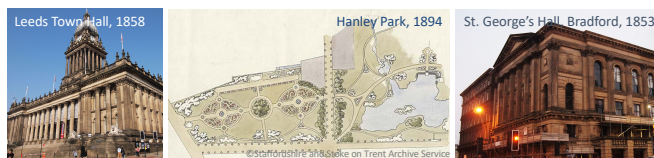
ここをより良い場所にするために自分自身が関わっているという意識を伴う、当事者意識にもとづく自負心だと言える

「シビックプライドがなければ、互いを尊重し自治能力を持つコミュニティへの意欲は頓挫してしまう。シビックプライドによって、その**動機、ひらめき、報い**がもたらされる。シビックプライドは、**集団の行動や個人の自発性の原動力**である。」  
(David Miliband, 英国初代地域社会および地方政府大臣)



100年前、多くの公共建築は英国の都市のプライドであった。学校、駅、郵便局、図書館などが、建築デザインの高水準の規格となり、民間セクターがそれを見習おうとした。シビックプライドをこよなく体現するものであったのだ。

(トニー・ブレア, 『より良い公共建築』序文, 2000)



## 海外文献にみるシビックプライドの源泉

カテゴリー	内容 (地域)
建築	ランドマーク建築 (米), アイコニックな建築 (欧), 文化財建築 (欧), デパート (米)
文化施設	美術館・博物館 (英) (一) (一) 劇場 (中南米)
公共施設	病院 (英) (米) 図書館 (英)
オープンスペース	公園 (英) 公園と公共空間 (米) ガーデン (英) オープンスペース (欧)
地区	ダウンタウン (米) (米) (加) 黒人地区 (米)
インフラ	地下鉄 (米) 都市下水道システム (一) 水道設備 (中東)
学校	大学 (英) (米)
文化	音楽祭 (英) パフォーミングアーツフェスティバル (豪) パブリックアート (英)
産業	工業の風景 (加) 最新医療 (米)
スポーツ	野球チーム (米) (米) アイスホッケーチーム (米) スポーツイベントやプロスポーツチーム (米) 人気スポーツ (米) 大規模スポーツイベント (一) スポーツイベント (欧)
植物	街路樹 (加) バラ (ア)
食	チーズ (欧)
その他	コミュニティキッチン (中南米) マウンド (中南米) ジオパーク計画 (中東) 壁面 (中南米)

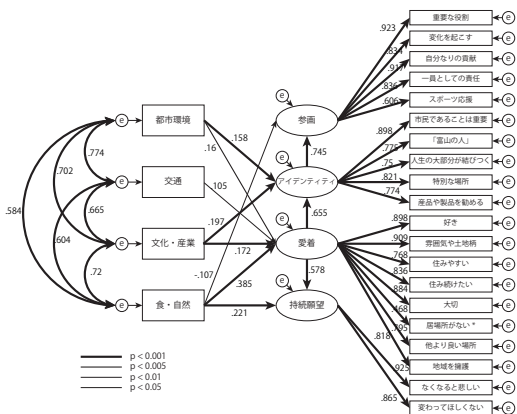
(英) イギリス, (欧) イギリス以外のヨーロッパ, (米) アメリカ, (加) カナダ, (中南米) 中南米, (中東) 中東, (ア) アフリカ, (豪) オーストラリア, (一) 特定の地域ではなく一般

# 「市民として誇りに思う〇〇」 富山地域の事例

建築物	TOYAMAキラリ 24, 富山電気ビルディング 8, 富山県富岩運河環水公園, 環水公園内スターバックスコビー 各6, 黒部ダム4, 富山県庁, 富山駅, 富山城, 新湊大橋 各3, 瑞龍寺, オートホール 各2
文化施設	富山県美術館 28, オートホール, 富山県水産美術館 各11, 富山市ガラス美術館 7, 富山市科学博物館 6, 富山市立図書館, TOYAMAキラリ 各5, 富山県立近代美術館 4, 高志の国文学館 3
オープンスペース	富山県富岩運河環水公園 78, 富山城址公園 9, ファミリーパーク 3, 常願寺川公園, 呉羽山公園, 太閤山ランド 各2
地区	八尾 14, 富山県富岩運河環水公園 8, 呉羽, 立山山麓, 富山市 各6, 富山駅北, 岩瀬 各5, 城址公園, 五箇山 各4, 氷見市, 婦中町 各2
交通機関	富山ライトレール 48, 市内電車 36, 北陸新幹線 11, 富山地方鉄道, セントラム 各5, 富山空港 3, 黒部峡谷鉄道 2
学校	富山大学 29, 富山高校, 富山中部高校 各4, 富山医科薬科大学 3
芸術	ガラス工芸 18, おわら 11, 富山県立美術館 7, 富山県水墨美術館, 壁川 各3, 富山市ガラス美術館, 麦屋節, オートホール 各2
イベント	おわら風の盆 74, 山まつり 11, 全日本チンドンコンクール 9, 富山まつり 4, 岩瀬曳山車祭, となみちチューリップフェア 各2
産業	製菓・売薬 52, YKK 7, アルミ産業, 鋳物 各6, 農業 5, 漁業 3
スポーツ	富山グラウジーズ 35, カターレ富山 14, 富山サンダーバズ 6, 富山第一高校サッカー部 4, 朝乃山, サッカー, パドミントン, スキー 各3
自然環境	立山連峰 96, 立山黒部アルペンルート, 山と海 各6, 山 5, 水, 称名滝 各4, 黒部ダム, 黒部峡谷 各3, 富山県富岩運河環水公園, 電気橋 各2
食	ます寿し 35, 魚・魚介類 34, フリ 26, 白エビ 18, ホタルイカ, 寿司 各9, 昆布メ 5, 刺身 4, 黒作り, 富山ブラック 各2
産物	鋳物 19, ホタルイカ 11, 白エビ, 米 各10, フリ 8, ガラス工芸, 雷鳥 各6, 昆布メ, くすり 各5, アルミ製品, 魚, 呉羽梨 各4, ますのしし 3, 黒作り, 井波彫刻 各2
歴史遺産	富山城 16, 五箇山 10, 内山邸 4, 合掌造り, 瑞龍寺, 高岡大仏 各3, 反魂丹, 立山, 黒部ダム 各2
その他	富山県富岩運河環水公園, 方言, 立山連峰 各7, 水 6, 自然 4, アルペンルート, ます寿し, 山・海・川 各3, 海産物, おわら, 治安が良い・自然災害が少ない, 松川, 食べ物, 真面目で勤勉 各2

- [source of civic pride, 海外]  
都市環境, スポーツ, 文化などがシビックプライドの源泉と認識されている。いずれも人の創り出した事物である。もともとシビックプライドは都市的な概念であり, 人々が地域に関わり地域に介入することに関係している。
- [市民として誇りに思う〇〇, 富山]  
海外の文献では見られなかった自然や(加工食品ではない)食が非常に多く挙げられた。また, 外からの評価も誇りに影響すると推測。

## シビックプライドの源泉がシビックプライドを高める共分散構造分析モデル

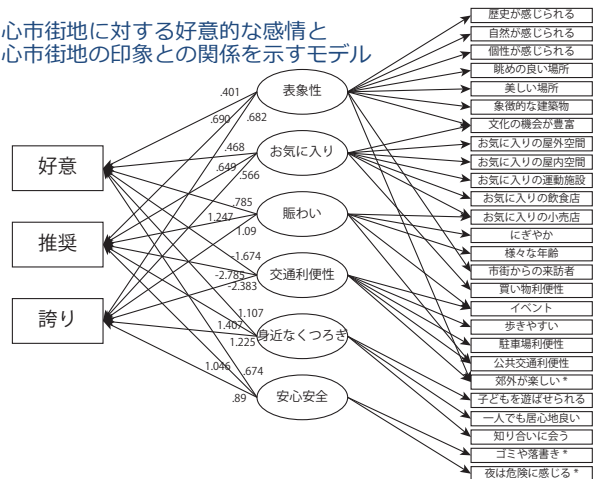


## 中心市街地に対する感情と中心市街地の評価

## 中心市街地に対する感情

- 14都市の4200人に対するアンケート調査に基づき, 中心市街地に対する評価が中心市街地に対する好意的な感情(好意, 推奨, 誇り)にどのように結びついているかを分析した。
- 好意的な感情
  - 好意(中心市街地が好きだ): 個人的視点
  - 推奨(市外の人に中心市街地を訪れることを勧めたい): 他者の視点
  - 誇り(市民として中心市街地を誇りに思う): 社会的視点
- 14都市: 北海道旭川市, 青森県青森市, 宮城県石巻市, 茨城県水戸市, 石川県金沢市, 長野県長野市, 愛知県豊田市, 兵庫県姫路市, 和歌山県和歌山市, 鳥取県鳥取市, 岡山県倉敷市, 愛媛県松山市, 長崎県長崎市, 宮崎県宮崎市

## 中心市街地に対する好意的な感情と中心市街地の印象との関係を示すモデル



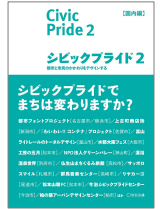
## シビックプライドを醸成する コミュニケーション・デザイン

シビックプライド自体をデザインして、市民に与えることはできない。シビックプライドは個人の中で醸成されるものだからである。デザインすべきは、シビックプライドの形ではなく、シビックプライドを醸成するためのコミュニケーションである。

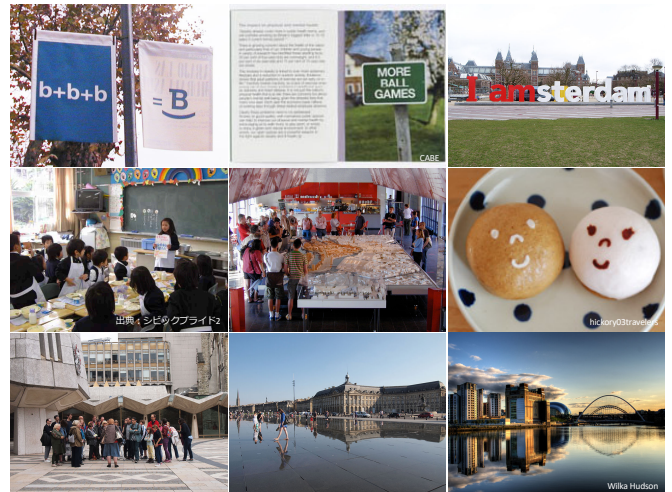
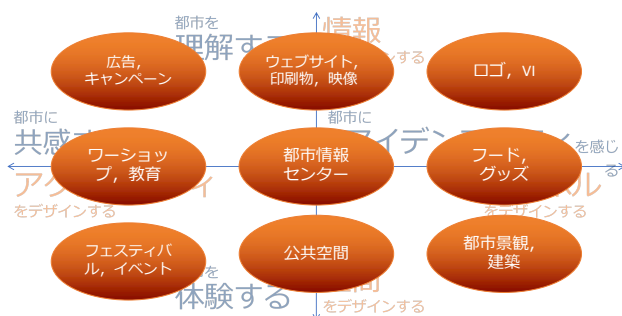
『シビックプライド：都市のコミュニケーションをデザインする』

都市は、さまざまな異質なものを含め非常に多くの要素を許容し、包含しているから、かかわりの可能性に満ちている。シビックプライドの考え方の良いところは、都市の多義性に呼応して、また前述した広がりるように、裾野が広く誰もが持ちうることだ。狭義の「まちづくり」が「意識の高い市民」のものと捉えられているのと対照的だと言えよう。

『シビックプライド2 (国内編)：都市と市民のかかわりをデザインする』



## コミュニケーション・ポイント



ICT技術やデータの活用は、都市の課題解決や利便性向上だけでなく、シビックプライド醸成のための接点づくりにも資するのでは。

- ・NYC公園局の市民参加の街路樹GISマップ作成
- ・バルセロナのシティOS など...

